

与良川通信

～ 第32号～

令和 4年 10月 31 日発行



おちあいしとちようとうくせいくり
落合所長特製栗ごはん！

工事名：栃木南部農業水利事業
与良川統合排水機場建設工事
発注者：農林水産省 関東農政局
受注者：前田建設工業株式会社

「安全」「環境」「品質」を最優先して作業を行ってまいります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、何卒宜しくお願いします。
ご意見、ご感想がありましたら、お気軽にお声掛けください。

令和4年9月末現在
工事進捗率：83.7%

【文責】
田野 伸午



はじめに

秋も深まりこれから11月下旬にかけて各地で紅葉が見ごろになります。皆さんもぜひ地元観光スポットに紅葉狩りに行ってみたいいかがでしょうか？

野木町



ホフマン館のメタセコイア

栃木県HPより画像引用

これからの施工について

4年目出水期施工も予定通りに進んでおり、先月完成した右岸側西部幹線排水路は片付け及びヤード整備まで完了しました。左岸側はひきつづき付替橋梁と、擁壁（貯油タンク）の躯体構築、除塵設備基礎の基礎コンクリート打設に取りかかり、第二機場掛の遊水池は護岸のブロック積みと底張りコンクリートの一部打設、第一機場掛の遊水池は11月から非出水期に入るので、河川の仮締切りを施し護岸工に取り掛かります。



離任の ごあいさつ

もとよし こうた
本吉 晃大

10/11付で石垣島の
駐屯地工事に異動

毎日一つひとつの経験が
とても貴重で新鮮でした。
次の現場でも思い返して
活かしていきます。



ながた りょう
永田 稜

10/16付で茨城県鹿嶋市内
国道下部工事に異動

与良川で様々な経験をし、成長することができました。
次の現場でも頑張ります！
短い間でしたがありがとうございました。

ゆ のうめい
俞 能銘

10/11付で鹿児島県内
九州自動車道の
耐震補強工事に異動

初めての一人暮らしが
ここ小山市で、とても濃い
3ヶ月間を過ごしました。
ありがとうございました。



わたしたちのくらしに欠かせない

日本の 農業と水の歴史

シリーズ①

～農業と土木のはじまり～

旧石器時代～
弥生時代



普段目にする田畑や農業用水は、決して自然にできたものではありません。
どのような成り立ちで今の姿になったか、これから歴史を紐解いてみましょう！

旧石器時代

縄文時代

縄文時代終期

弥生時代

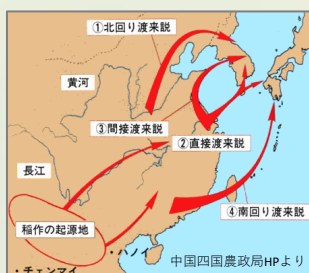
野生動植物の
採集狩猟が中心
一部地域ではアズキ
ダイス属の畑作が
行われていました

大陸から稲作が伝来！

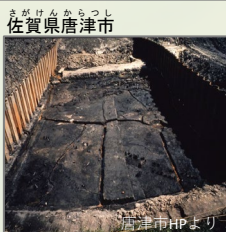
米は熱帯性植物であり、
もともと日本列島には自生していません
今から2500～2600年前には九州地方で
稲作がはじまったとされます

＊かんがい農業がはじまる

紀元前1世紀ごろには
水田の区画や用排水組織の整備など
土木技術がもちいられた
かんがい農業がはじまったとされます



稲作伝来ルートの学説



佐賀県唐津市
菜畑遺跡の水田跡
日本最古の水稲耕作遺跡



静岡県静岡市
登呂遺跡
復元された水田と高床式倉庫

参考文献

「人類と生物圏」シンポジウム特集号-その2「縄文時代の植物のドメスティケーション」
2018年57巻4号 p.109-126 岡山理科大学生物地球学部 那須 浩郎 著
農業土木学会誌 1984年52巻8号 p.721-728, 「農業土木の発祥」 石川農業短期大学 湯川清光 著
中国四国農政局HP「お米はどこからきたの」 <https://www.maiff.go.jp/chushi/nouse/hiroshima/syokuiku/kyousitu/dokokara.html>
クボタHP「稲作から見た日本の成り立ち」 https://www.kubota.co.jp/kubotatanbo/history/formation/generation_01.html

＊かんがい（灌漑）農業とは

農作物の生育に必要な水を人工的あるいは組織的な方法によって
供給をしながら行う農業のことをいいます。